

住民向け研修会

「災害時に出たごみはどうしたらいいの？」

大阪府摂津市

- 人口※ 87,124 人
- 自治会加入率 43%
- 実施時期 令和 4 年度

※令和 6 年 12 月 10 日時点自治体ホームページ掲載情報

取組むことになったきっかけ

摂津市は、近畿地方環境事務所「災害廃棄物処理住民啓発事業」に採択されたことがきっかけで、住民等への研修実施に至りました。

取組内容

「災害時に出たごみはどうしたらいいの？」をテーマとした住民向けの研修会が開催されました。

基礎講座では、災害のイメージや用語に関する学習と、災害ごみについてのクイズ等が実施され、災害時に片付けごみを出すときの課題やその対処方法についてグループごとに意見交換したうえで、全体発表が行われました。

住民向け研修会は 2 回実施され、市内 3 自治会から 57 人、そのほか行政機関から 21 人が参加しました。

参加者からの感想

「日頃から災害ごみについて問題意識を持つことが大切」
 「災害経験のある方の話を聞くことは重要だ」
 「研修会の回数を重ねることで地域住民が日ごろのように思っているか理解もできるし、内容も深まると思う」

住民を交えた研修会を経て関係者の意見を反映し作成された、摂津市の住民向け「災害時のごみの出し方ガイドブック」(抜粋)



自治体の声

災害の種類や規模によって災害時のごみの出し方にも違いがあります。それぞれに応じた対応方法を検討する必要があります。住民主催の地域イベント（防災訓練）等に参加し、災害ごみの分別の重要性を継続的に説明していきたいです。